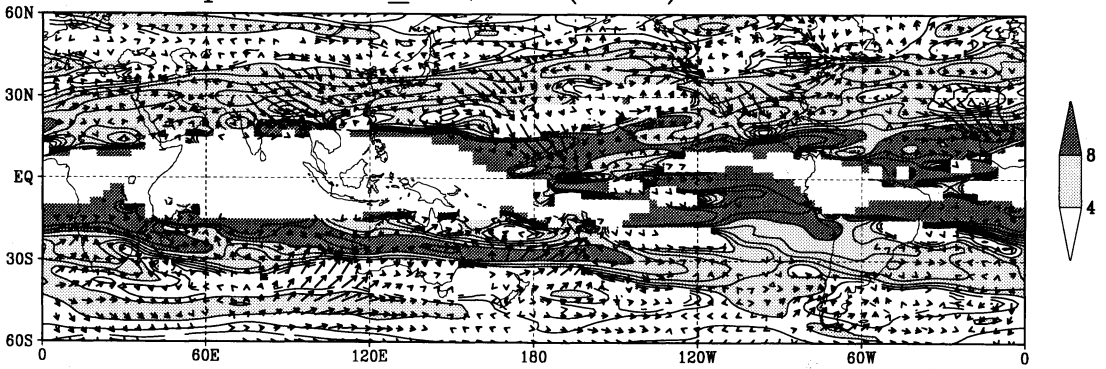


## Apr 1999 R\_IDX, WAF(TN97) at 200hPa



第4図 200 hPa 高度面の波の屈折率（陰影と等値線）、ベクトルは高谷・中村の波の活動度フラックス（1999年4月平均）。

考えられる。ただし、半旬程度の短い時間間隔で見るとトランジェントな変動の成分が大きいため、第1図に見る偏差場がそのままに保持されていたわけではない。このような変則的な流れ場が長期間に渡ってどのようなバランスで維持されていたのかということはたいへん興味深いのだが、どなたかそのメカニズムを説明して頂けないだろうか。

（気象庁気候・海洋気象部気候情報課 小出 寛）

## 参 考 文 献

- Hoskins, B. J. and T. Ambrizzi, 1993: Rossby wave propagation on a realistic longitudinally varying flow, *J. Atmos. Sci.*, **50**, 1661-1671.
- Takaya, K. and H. Nakamura, 1997: A formulation of wave-activity flux for stationary Rossby waves on a zonally varying basic flow, *Geophys. Res. Lett.*, **24**, 2985-2988.

## 1999年度「朝日賞」の候補者推薦募集

標記の賞について、朝日新聞文化財団から以下のお知らせがありました。日本気象学会では、7月末ごろに「学会外各賞推薦委員会」を開催して「朝日賞」への推薦者を選考する予定ですが、学会以外からの推薦も可能ですので下記の要領で応募して下さい。詳細な資料と推薦用紙は学会事務局にあります。

1. 対象：わが国のさまざまな分野において、傑出した業績をあげ、文化、社会の発展、向上に貢献を

された個人または団体。

2. 推薦締切：1999年8月31日（火）

3. 問い合わせ先：

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞社文化企画局「朝日賞」係

Tel：03-5540-7453

Fax：03-3541-8999